



平成30年4月採用

新規採用職員からのメッセージ

障がい者総合福祉センター総務課
新田 奈加子（行政事務）

●現在の仕事の内容

私が所属する障がい者総合福祉センターでは、身体障害者手帳・療育手帳の交付や、身体障がい者・知的障がい者の方に、専門的知識や技術を必要とする助言や指導等の更生相談を行っています。その中で私は、センター内の予算や物品の管理など、いわゆる「事務」の仕事のほか、身体障害者手帳の交付業務を担当しています。

●県職員として働いて感じたこと

身体障害者手帳の交付業務では、申請のあった方について、医療機関が作成した診断書を見て障がいに該当するか等を審査します。最初は、「行政事務でも、こんなに専門的な業務もやるのか」と驚きました。中には審査が難しく、医療機関と何度もやりとりをすることもあります。上司や先輩に相談しながら対応し、最終的に手帳を交付することができた時には、とても達成感を感じます。



●県職員を志望した理由

私は高校生まで福島県で過ごし、県外に出てみたいと関東の大学に進学しました。県外に出たことで、福島県の魅力を新たに発見し、改めて福島県の良さを感じることができました。そして、魅力がたくさんある大好きな福島県をよりよくしたい！という思いが強くなり、福島県職員になることを志しました。

●採用後の研修などについて

和やかな雰囲気職場で、相談しやすい環境なのでとても助かっています。また、新規採用職員には一人一人にサポート職員の先輩がついており、社会人としての振る舞いを含め、仕事で必要なことをしっかり教えてもらえるので安心して働くことができます。



●試験の対策や情報の入手方法

筆記試験対策は、同じ問題集を繰り返し解き、苦手分野を克服していきました。面接対策は、大学在学中に取り組んだ物事を通して自分がどう変わったか、強みは何か等を説明できるように、自分の考えをまとめることを重点的に行いました。

●受験者へのメッセージ

勉強だけでなく、アルバイトや大学での取組も含めて、今まで頑張ってきたことは、全て皆さんの力になってくれます。頑張りすぎて体をこわさないように注意して、目標に向かって突き進んでください！

※掲載内容は、2019年2月現在のものです。